

発行 / 社会福祉法人あぶくま福祉会 就労継続支援B型事業所 ほとほら授産所

〒960-0657 伊達市保原町字中瀬町 100 Tel/fax 024-575-4355

## 4月の主な行事

- 4月1日(木) 辞令交付式 理事長訓示  
永年勤続職員表彰式  
合同職員会議  
3日(土) 土曜利用日  
8日(木) 工賃支給日  
16日(金) 遠足代替行事

## 4月誕生日のみなさん おめでとうございます

齋藤サト子さん(4月4日) 池田亜希子さん(4月16日)  
八巻裕幸さん(4月24日) 鈴木良子さん(4月27日)  
おめでとうございます。誕生会は、5月生まれの皆さんといっしょに5月に行います。お楽しみに。

# 震災から10年 あの日を忘れない 地震を想定して避難訓練実施



机の下に隠れて身を守る利用者さんたち



中木所長の講評を聞く利用者さんたち

3月11日、東日本大震災から10年を迎えたこの日の午前10時25分、大地震を想定した避難訓練を行いました。利用者さんたちは10年前の震災を思い出し、真剣に訓練に取り組みました。訓練では大きな揺れが発生し、利用者さんたちは机や作業台の下に身を隠し体を守り、揺れのおさまりと同時に建物倒壊の恐れがあり、全員外に避難する行動をとりました。皆さん慌てず落ちついて行動しました。毎月1回有事に備え、地震や火災を想定して訓練を行っています。

ごあいさつ

**新年度がスタートしました。社会福祉法人あぶくま福祉会吉田理事長  
ほどはら授産所保護者会池田会長、ほどはら授産所中木所長より、新年  
度にあたって、ごあいさつを申し上げます。**



## 令和3年度のスタートにあたって



社会福祉法人あぶくま福祉会  
理事長 吉田修次郎

桜花爛漫、過ごしやすい季節となりました。温暖化の影響でしょうか、桜の花だよりも年々早くなっており、施設の敷地内にある桜の花も、このお便りが皆さんのお手元に届く頃には満開に咲き誇っているものと思います。利用者の皆さんにとっては、外での活動が楽しみな季節を迎えました。

昨年は、新型コロナウイルス感染防止の対策に明け暮れた一年であったように思います。自粛、巣ごもり、3密回避、ソーシャルディスタンス、クラスター等コロナ関連用語が次々生まれ、私たちの生活も一変してしまいました。そして、1年過ぎた現在もこの状況は解消されることなく続いております。

これまで当法人の利用者・職員から一人の感染者も出すことなく来れたのも皆さんご協力のお陰と感謝申し上げます。今後とも感染者を出さない様手洗い、消毒、マスク着用等を徹底して施設運営を致しますので、よろしくお願い致します。

さて、令和3年度は、昨年取得したほどはら授産所南側の用地を造成しハウス建設、駐車場整備等の工事が始まります。利用者の皆さんが事故にあわない様、工事関係者に注意し、職員には利用者の安全に配慮し、より厳しく目配り・気配りして支援するよう指導してまいります。

また、だての郷事務室の奥に相談支援事業所「よつば」を開設します。利用者がサービス等を適切に受けられるよう相談・計画の作成等行います。

更に今年度は、ワゴン車を購入し送迎システムの見直しを行います。これまで2台のマイクロバスを使用して送迎を行ってききましたが、準備が整い次第ワゴン車による個別送迎に切り替えます。特に要望の強かっただての郷から順次体制が整い次第に実施したいと考えております。ほどはら授産所の利用者については、バス送迎希望もあることから、今後状況を見極めながら順次実施したいと考えております。

これら新規事業は、初めから完璧な100%運営は出来ないかもしれませんが、今年度は“先ず一步を踏み出してみる”一年であると考えております。

また、今までだての郷の分室作業所として使用していた部屋は現在、スヌーズレン装置を設置し、利用者の皆さんの不安状態解消のための常設部屋となっております。皆さんが不安状態になったときに心落ち着かせる「癒しの空間」となっております。是非保護者の皆さんも一度見学し、イライラした時等に少しの時間この空間で心落ち着かせてみては如何でしょうか。

私たち福祉の仕事はコロナの時代であっても、一般企業のようにオンラインやリモート、ソーシャルディスタンスでの仕事はできません。これからも社会福祉法人の使命である「地域に開かれた施設」として地域貢献、公益事業の実施と共に「利用者のための施設」として努力をしてみたいと思っておりますので、保護者の皆様には、ご理解ご支援を頂きますようお願い申し上げます、新年度スタートにあたってのご挨拶といたします。



## 年度初めにあって

ほどはら授産所保護者会  
会長 池田光雄

令和3年度の年度初めにあって一言ごあいさつ申し上げます。当施設の運営と保護者会活動に対し、常日頃からご支援、ご協力、そしてご理解をいただいていることに感謝申し上げます。

丑年は「我慢（耐える）」「これから発展する前触れ（芽が出る）」というような年になる」と言われています。

昨年は型コロナウイルスによって日本だけでなく世界中が多くの困難に見舞われました。今年はみんなでコロナを克服し、希望に満ちた年になることを願わずにはいられません。新型コロナウイルス感染を危惧しなければならない状況は今なお続いておりますので、利用者の皆さんはじめ職員、保護者の皆様におかれましてはどうぞご自愛のうえお過ごしください。

コロナの中で研修旅行やあぶくま祭など各種行事が中止となり、一抹の寂しさがありました。所長さんをはじめ職員のアイディアでジェラートのつどいや焼いも大会など開催いただき、利用者の皆様は楽しく過ごされたこと、重ねて感謝申し上げます。

利用者の皆様が明るく、仲良く楽しく仕事に従事できますよう、今まで以上に所長さんをはじめ職員の皆様の温かいご指導ご支援を重ねてお願い申し上げます。

結びにこの一年間、病気、けが、事故などに遭わないようお互い元気で頑張っていきましょう。



## 新年度スタートにあたって

ほどはら授産所 所長 中木雅彦

昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、変則的な一年になってしまいました。利用者の皆さんにとって我慢の年でした。そのような状況にも、利用者様はじめ保護者の皆様には温かいご理解とご支援を賜り、施設運営できましたこと御礼を申し上げます。

新年度を迎えました。先月から福島県内でも医療関係者に新型コロナウイルスワクチン接種が始まり、もう少し立つと高齢の方に、そして順次一般にも行われると思います。社会全体が集団免疫状態になり終息に向かってくれるといいのですが、そう簡単にはいかないことを覚悟し、利用者の皆さんはじめ、ご家族・職員の皆さんには、毎日自身の健康管理に注意を払っていただき、施設として、見えない敵に遭遇しても罹らないよう、未然に自衛策としてマスクの着用と入念な手洗いを継続していただきたいと思っております。毎朝自宅を出る前の検温、マスク着用が当たり前になってしまいました。以前は非日常のことでしたが、1年経過し習慣化してしまいました。ある意味日々の健康管理につながり、良いことでありコロナ終息後も定着していただければいいと思っています。

さて小職も着任以来2年9か月がたちました。毎日、利用者の皆さん、保護者の皆さん、職員の皆さんとコミュニケーションを深めながら、施設運営をしております。利用者さんがうれしいことや楽しいことは2倍に、悲しいこと、つらいことは半分にしてあげて皆で分かち合いながら過ごしております。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ほどはら授産所作業各班とも担当職員が利用者さんの支援について、今年も一生懸命努めてまいりますのでどうぞよろしく申し上げます。

新年度スタートにあたり、今年度も先が見えない社会情勢の中、初心に帰って利用者さんのことを思い、心を寄り添い、利用者の皆さんが居心地の良い施設運営をしてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

# ほどはら授産所作業班 令和3年度活動方針！



作業班担当から、今年目標や活動の方針をお伝えします。本年度もよろしく  
お願いします。

## 農耕園芸班

(担当 佐藤典昭管理者)

令和3年度の農耕園芸では、年間12万本の花苗栽培を予定しております。

現在のところ、マリーゴールドやサルビアの植え替え作業を行っており、次第に忙しくなってきました。これから5月にかけて繁忙期を迎えます。前期は10万本ほどの納品が見込まれており、後期は秋冬のパンジー・つりがねそうなど、約2万本の栽培を予定しております。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、花市・あぶくま祭等イベントの中止や地域における花苗植栽活動の自粛などの影響により、販売に大変苦慮しました。現在も終息の兆しが見えないところですが、イベントや植栽等が自粛や中止とならないように願うところです。

園芸作業を行う利用者の皆さんは、たくさんの植え替え作業はじめ花苗の運搬・苗植え、ポットの汚れ取り、環境整備などの屋外作業に根気よく、力強く取り組んでいただいております。引き続き、感染症予防に努めて、令和3年度も利用者皆さんの大いなる活躍に期待しております。みなさん力を合わせて「ほどはらの花」を「たくさん咲かせっぺない！」

## 手工芸班

(担当 管野富江職業指導員)

令和3年度新年度を迎えるにあたり、まだまだ新型コロナウイルスが猛威を振るい、安心して日々の生活を送ることが難しいと言えます。

その中でも、ほどはら授産所の利用者の皆さん・ご家族の皆さん・職員は手洗い・うがい・消毒を徹底し感染症に感染することなく、日々の生活を送ることができています。これからも、終息するまで感染しないしてほしいと願う毎日です。

手工芸班の作業も、現状でも新型コロナウイルスの影響を受けタオルの作業が滞っているのが現状です。なかなか意欲的に作業を行う事はできません。

ですが、こんな時だからこそ、今まで忙しくて出来なかった事や自分磨きの時間にしたいと思います。そして、タオルの作業が再開した時には、又積極的に作業に取り組みたいと思います。

保護者の皆様も温かい目で見守っていただけると嬉しいです。

令和3年度もよろしくお願いたします。

# 段ボール班

(担当 木村光永 目標工賃達成指導員)

令和3年度段ボール班では、現在受注契約を交わしている「王子コンテナー福島工場」様（伊達市保原町工業団地内）よりお預かりしている「中箱仕切り」類と「安全靴外箱」の加工納品を引き続き手掛けていく予定です。

企業下請けによる段ボール加工作業に取り組むことで、作業の基礎的能力を高め、成果品の納品を通して流通経済の一翼を担う事が目標です。日々、納期・品質厳守という社会のルールに則り、利用者のみなさんは責任と自覚を持って取り組んでおります。

作業内容として、材料の搬入に始まり、段ボール半製品のバリ取り、仕切りの組立、外箱のボンド付け及び組立、梱包、数量・品質チェック、製品の搬出にいたるまで利用者さんそれぞれの得意な面を生かした作業に取り組んでいます。得意分野で効率を上げ、自信をつけることで苦手な分野にも挑戦していただけることを期待しております。何よりもみんなで協力して仲間をサポートしながら、一つ一つ丁寧に正確に完成させていくことを日々の目標としながら、楽しんで取り組んでいただければと思います。

未だコロナ過の収束のメドが立たず、作業受注にも影響が心配されるところですが、与えられた仕事に責任を持って頑張っていただきたいと思います。一年間よろしくお願ひいたします。

# リサイクル班

(担当 鈴木信行主任)

温かい春の陽気が続く中、新年度のスタートの時期を迎えました。

リサイクル班の皆さん、今年度も元気に出勤し作業に取り組んで下さい。今年度の作業内容は、引き続き電子機器の分解と分別のリサイクル作業、介護ベッド洗浄作業を中心に行っていきます。昨年度コロナウイルス感染症の影響で受注量が減ってしまった分解作業と洗浄作業は回復傾向にあります。前年度の減少の分まで作業を進めていきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。発注を受けた作業に一つ一つ着実に取り組み、協力しながら一生懸命作業に取り組んで欲しいと思ひます。また、それぞれ得意な分野で怪我することなく安全に作業を進めて欲しいと思ひます。

健康面では、手洗いやうがいを慣行し、コロナウイルスや風邪にかからないように気をつけ休まず出勤して下さい。

外出行事はまだ難しい状況にありますが、代替え行事等を皆さんと楽しく行いたいと思ひます。1年間よろしくお願ひします。

# 2月3月生まれの皆さんの 誕生日を祝う！



正面に整列し、祝福を受ける誕生者の皆さん

3月5日、午後の作業を早めに切り上げて2月3月生まれ利用者の誕生日を祝う誕生会を開きました。初めに中木所長からお祝いの言葉があり、みんなで♪ハッピーバースデーを歌って、2月と3月に生まれた利用者8名の皆さんを祝福しました。誕生者の皆さんにはバースデーカードと永井さんのおばあちゃん手作りのエコバッグがプレゼントされました。そして、齋藤サト子さんの乾杯の発声で飲み物とケーキをいただき、みんなでお祝いしました。



バースデーカードをお渡ししました



佐藤利彦さん



小林陽平さん



大橋春寧さん



岩崎真由美さん



佐藤 瞬さん



佐藤静香さん



畠 海就さん



松浦広貴さん

令和2年度利用者さんの誕生会は、今回で全員をお祝いすることができました。ほんとうにみなさんおめでとうございます。令和2年度は、3年ぶりに新成人をお祝いすることができました。新年度も基本2月に1回の日程で誕生会を行います。(誕生月によって該当者がいない場合、日程調整をしています。) 皆さんお楽しみに。

## 新年度に向け 理事会 評議員会開く



理事会開会にあたりあいさつする吉田理事長



木谷評議員を議長に慎重審議する評議員の皆様

3月11日、令和3年当法人第1回理事会をほどはら授産所食堂休憩室において行いました。会議に先立ち、当日、東日本大震災から10年を迎えたことから、出席者全員で犠牲となられた方がたへ黙祷をささげました。

会議では、報告2件と議案9件が審議されました

報告は、社会福祉充実残額の執行状況と、理事長及び業務執行理事の執務状況の2件でした。議案は、ほどはら授産所、だての郷、グループホームスクラムの管理運営規程の新たな制定、経理規程の一部改正、公印管理規程の一部改正、令和2年度補正予算、令和3年度事業計画、令和3年度予算など9件が審議されました。

特に令和3年度から新たに相談支援事業所の開設、徐々にではあるが個別送迎移行の予定などがあることから、活発な意見、質問が交わされました。審議の結果、いずれの議案も原案のとおり可決されました。

3月23日、令和3年当法人第1回評議員会を同じくほどはら授産所食堂休憩室で行いました。審議案件は、理事会で可決された内容で、いずれの報告、議案も原案のとおり可決されました。

## 相談支援事業 4月からスタートへ

あぶくま福祉会では昨年制定した相談支援事業所運営規程により今年初めから「相談支援事業所よつば」の開設準備をすすめてまいりました。おかげさまで、本年4月1日からだての郷事務室の東側スペースを相談室に構え、事業開始となりました。当面管理者（兼任）と専任相談員、事務員（兼任）の体制で運営してまいります。

利用者様のなかで当所をご希望の方は、次回更新時等切り替えの際にお申し出ください。当法人4番目の拠点となり、グループホーム開設以来の新規事業実施となりました。皆様どうぞよろしく願いいたします。

## すし竹さんへ御礼に出向く



節分の際、施設へお寿司のご寄付をいただいた有限会社すし竹様へ、このほど両施設の利用者代表が、御礼にすし竹赤橋店へ伺いました。

大竹社長様と鈴木店長様に、利用者さんが作った御礼のメッセージプレートと理事長のお礼状をお渡ししました。改めてご寄付に感謝申し上げます。

御礼メッセージプレートをお届けした大橋さん（左）と萩原さん

### 利用者様訃報

かねてから体調がすぐれず自宅療養を続けていた岡崎勝彰さんが、去る3月11日お亡くなりになりました。ひろせ授産所時代から通算30余年にわたりご利用いただきました。ほどはら授産所には人一倍思い入れがあり、利用者さんからも慕われ、他の模範となる方でした。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

3月15日告別式が営まれ、吉田理事長が謹んで弔辞を奉読いたしました。

**編集後記** /四月春爛漫、心弾む時期であります。今年も年度初めから新型コロナウイルス感染症拡大防止が最大の課題となっています。危機意識を常に持ちながら施設運営をしてまいります。▼感染予防は、「手洗いうがいの励行、三密回避と5つの場面に気をつけて」が合言葉です。みんなで感染予防に努めたいと思います。▼去る3月11日の岡崎勝彰さんの訃報に接し、授産所は深い悲しみに包まれました。利用者さんの涙が勝彰さんの人柄を忍ばせていました。ご冥福をお祈り申し上げます。▼毎日利用者さんが仕事を楽しくできるよう、今年も4班体制で支援してまいります。また今年度は個別送迎を一部地区先行して行う予定になっています。詳しくは後日決まり次第、皆様にお知らせいたします。令和3年度も保護者の皆様の温かいご理解・ご協力よろしく願いします。(M)